

< ぐあいさつ >

みなさん、こんにちは！ みなさん宇宙は好きですか？ 天文っていっても、いまいピンとこないかもしれませんが、星とか銀河、遠くの宇宙...という、なんかおもしろそう！なんて思いませんか？ これから、この「博物館通信」では、宇宙に関するいろいろなお話や、これから起こる天文現象、最新の天文ニュースなど宇宙の不思議を、たくさんお知らせしようと思っています。また、博物館や天文台での出来事などもレポートする予定です。どうぞ、お楽しみに！

★ ラインナップ ★

春の星空

天文トピックス

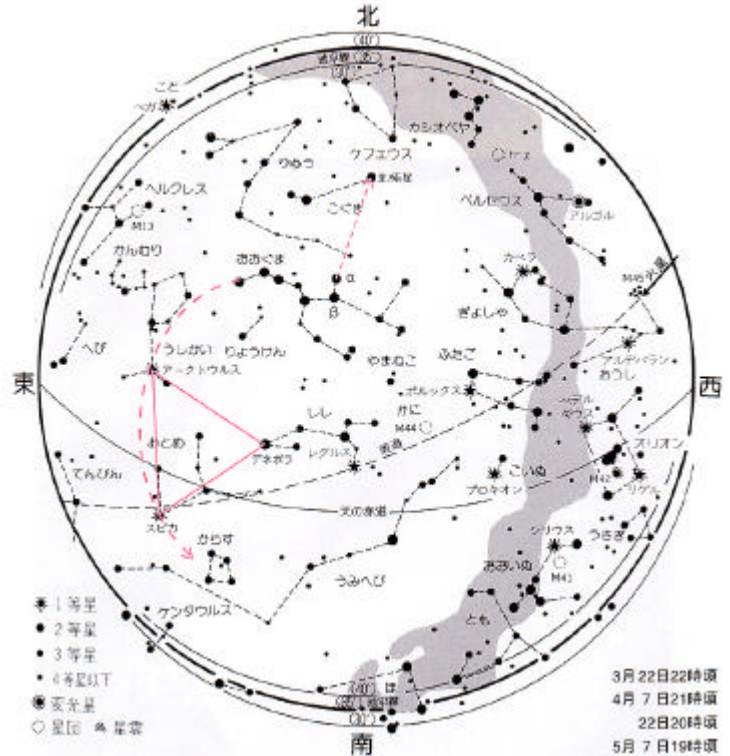
ちょっとオススメ！

「オーロラ紀行 行ってきました！見ってきました！」

博物館からのお知らせ

★ 春の星空 ★

冬の星座が西に傾くと、春の星座の代表格「しし座」が天頂に昇ってきます。目印は、クエスチョンマーク(?)を裏返したような並びで、この部分は、ししの頭と胸にあたります。胸に輝く明るい星が1等星のレグルス。尻尾の先には、2等星のデネボラが輝いています。次に、北の空に北斗七星を見つけましょう。北斗七星のひしゃくの柄の部分のカーブを延長すると、オレンジ色の1等星があります。うしかい座の星、アークトゥールスです。さらにこのカーブを南に伸ばすと、もうひとつ、青白い1等星があります。これが、おとめ座のスピカです。このように、北斗七星からアークトゥールス、スピカへと続く曲線を「春の大曲線」と呼びます。また、アークトゥールス、スピカ、そしてしし座のデネボラを結んだ三角形を「春の第三角」と呼びます。



< 春の星空 >

< 北極星を見つけよう！ >

北斗七星から北極星を見つけよう。まず、北斗七星の柄の部分、星と星を結びます。その距離を 星の方向に約5倍延ばすと、わりと明るい星が見つかります。これが北極星です。北極星は1年中、いつも真北に見えているので、方角を知ったり、いろいろな星座を探すのにも便利です。



< 北斗七星と北極星：カシオペア座からも見つけることができます >

<クマを追う3人のインディアン・北斗七星>

北斗七星には、クマとインディアンのおもしろいお話があります。

冬の間中、お腹をすかせた3人のインディアンは、春になって、冬眠からさめたクマを発見！腹ペコインディアン達は、逃してなるものかと必死になって追いかけると、それにびっくりしたクマは、天に向かって駆け上がった！先頭のインディアンは弓矢をかまえ、2番目のインディアンは鍋を、そして3番目のインディアンは火をつけた焚き木をふりかざす。それを見たクマも、ますます必死で逃げまわる…。そうこうしているうちに、天頂まで昇ったクマは疲れたのか、地平線に向かって下り始め、とうとう秋には、インディアンたちに地平線へと追い詰められてしまった…。これは、北斗七星の杓の部分をクマ、柄の部分インディアンたちに例えたお話で、春から秋にかけての北斗七星の動きをうまく表しています。この話によれば、秋に木々が色づくのは、頭をぶつけたクマの血がかかるからだとか…？ それにしても、食べられちゃうクマはかわいそうですね。

★ 天文トピックス ★

- 3月中旬 : ミール宇宙ステーション 南太平洋上に落下予定(ニュージーランドとチリの間)
- 3月20日 : 春分の日。太陽がちょうど真東から昇り、真西に沈みます。
- 4月22日 : こと座流星群極大
- 5月6日 : みずがめ座 流星群極大
- 6月21日 : 皆既日食(アフリカ付近。日本では見れません。)

★ ちょっとオススメ ★ 「オーロラ紀行 行ってきました！見ってきました！」

行先 : Yellowknife, CANADA (カナダ・ノースウエスト準州・州都イエローナイフ)

日程 : 2000 / 11 / 20 ~ 25

みなさん、オーロラをご存知ですか？オーロラは実は天文現象。そしてオーロラの出現と、太陽の活動には密接な関係があります。太陽活動が活発な今は、まさにオーロラが見頃！...というわけで、オーロラツアーへ行ってきました。

- ・ 1日目 : イエローナイフ到着後、レンタルの防寒服・靴のサイズ合わせをして、いざ出発。車で30分かけて郊外の観測地のキャンプへ。観測時間 A.M.1:00 ~ A.M.4:00 帰る頃には雪が降ってきてオーロラは見れず...
- ・ 2日目 : 「うーん。雲が厚い」だけど、ただひとつの希望の星(木星)が見えている。北の空に雲とは、明らかに違う動きのあるものが出現。
私「あれは？」 ガイドさん「オーロラですね」
私「へえっ!？」(きっと、雲の上には強いオーロラが・・・あっ、ああ。)
昨日に続いてオーロラは見れず、帰路につく私達。
帰りの車中の6人... 皆、無口。そこへ平原を走っている車の前方に突如、あらわれたオーロラ！180度ひらけた何も無い平原。
全天の東から西に、帯状の半円(アーチ)のオーロラ。西の空には、 <カーテン状のオーロラ と しし座>

カーテン状のオーロラ。裾のひだが揺れている。

「やっと会えたー」（“見れた”という言葉より、より感情にちかいです）「きれいー」ただただ、うっとり。見惚れていた... この時の写真は、訳あってありませんが、いちばん私の心に残っているオーロラです。

・ 4日目：1日目と同じ状況。雲が厚い。キャビンの中でくつろぎながら昨夜到着後に参加された方の話を聞く。なんと！私達が帰った後に、頭上のあたりに傘のように広がった（コロナ型）赤い色をしたオーロラが見えたとのこと。

「すごかった！」と、興奮の状態で話して下さる。その様子から、すごいオーロラだったことがわかる。最終の今夜、オーロラ見れず... キャビンを後にする。市内のホテルに戻り支度をして、さあ日本へ帰国。果たして、オーロラの写真は撮れているのだろうか？頭の中は期待と不安でいっぱい...

～追記～

今年は太陽の活動期。そして目的地のイエローナイフは、

オーロラ出現確率最大の最適地。見るチャンスは、4夜

とても良い条件なのでオーロラは、確実に見えるものだと...

確信していて、見えない状況をまったくいいほど考えていな

かった。（楽観的な性格もあるのですが）オーロラは雲に隠され

もするし、星が見えてオーロラが見える。そんな単純なことを、

2夜連続して観測地では見えなかった時に気がつきました。

<渦巻くオーロラ>

当たり前のことですが、曇天も晴夜もオーロラを見るのに条件の良い月の新月もすべて自然現象。オーロラは、「見るか」「撮るか」のどちらかだ」ということを目にしました、この意味も実際行って経験してわかりました。オーロラの優雅なスルスルーとした、予想外の早い動き。オーロラの動き（変化）が、想像していたよりも早く、カメラのファインダーを覗いて構図を決めてシャッターをきるという余裕が持てなかった。オーロラを初めて目にし氷点下15度の慣れない撮影と、ということもあったのかもしれませんが... 目がオーロラに奪われていました。オーロラは、「見ることができて、幸運であった」と謙虚な気持ちになれる、言葉では言いあらわせないほど美しいものでした。

さてー イエローナイフへは、関西空港から出国しカナダ国内（バンクーバー・エドモントン）で2回乗り継ぎ約14時間かかりますが、時差のため同日には到着します。行くまで平均気温のデータを見ては防寒対策に不安になったり... 逆に「極北って一体、どれくらい寒いのか？」と、楽しみでもありました。そして、覚悟して挑んだ「寒さ」は、以外にも「寒い」と感じなかったのです。イエローナイフは湿度が低く乾燥し、風がないからだそうです。屋内はしっかり暖房されており、屋外へ出てちょこっと用事をしている人を目にしたら... なんとTシャツ姿！ 厚着をしていたら汗をかいて大変です。

重ね着は、脱ぎ着が簡単にできるものがオススメです。

イエローナイフの人口は、約18,000人。州都のため街には、政治関連の立派な建物が立ち並んでいました。必見は、車のナンバープレート。白熊をかたどったもので、なんともかわいいおしゃれ心のあるものでした。最近では、街の近郊でダイヤモンドが発見され鉱業の中心地となっています。街のインフォメーションセンターには、観光スポットの情報を提供しており日本語のガイドパンフレットも豊富にありました。

<左：白熊をかたどったナンバープレート、

右：お夜食（カリブーのシチューとパン）>

スタッフや住民は、気さくでフレンドリーです。旅行者にとっては、大変便利な現地ツアー会社。受け入れ体制もしっかりしていて、日本人ガイドが多く、不便はあまり感じず過ごせました。

オーロラ観測では、車で街の明かりが届かない郊外のキャンプ地へ行き、キャビン（小屋）を利用しての観測です。キャビンは、大・中・小・ドーム型と、いろいろなタイプがあり毎夜違うキャビンで過ごしました。キャビン内では、ストーブで暖められお夜食として、地元の郷土料理（シチュー・チャウダー）とパノック（伝統的なパン）、暖かい飲み物が用意され体が温まるせいでしょうか... オーロラが見れなくても、そう悲観的にならずに楽しめました。

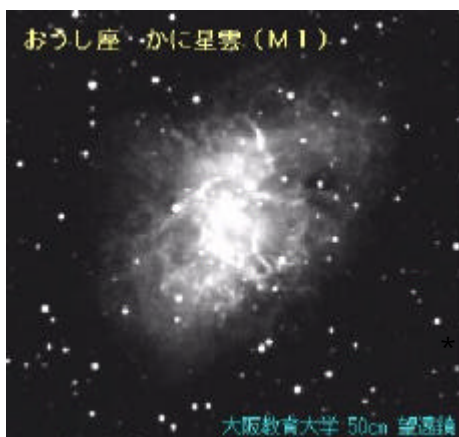
先日放送されたTV番組「世界・ふしぎ発見！」での問題にもでていましたが、極北の原住民の言い伝えでは、口笛を吹くとオーロラが「踊る」と、言われています。オーロラの姿が現れるとキャビン周辺の森の中では、口笛が響きわたっていました。広い森の中で、樹々の間に紛れ込みオーロラを見ていた私は、とても幻想的な雰囲気に包まれました。

私は、今回初めてオーロラを見にいき、幸運にも見ることで貴重な体験をしました。皆さまにも、ぜひオーロラを見る機会があればと思いこのように報告をさせていただきました。

< 博物館でも、オーロラの展示をしています！写真がいっぱいです。ぜひ見に来てね！ >

★ 博物館からのお知らせ ★

プラネタリウム春番組 「スーパーノバを見つけるぞ！」 3/10（土）～6/3（日）まで



スーパーノバ（超新星）ってなんでしょう？

スーパーノバとは、星の進化の最後の段階で大爆発を起こしている星です。かんたんに言うと、老人星といったところ？

星も人間や他の生物と同じ様に、一生があります。

星はどんなところから生まれて、どんなふう成長していくのか、そして最後は...？番組では、スーパーノバを通して、宇宙に無数にある星の一生についてわかりやすく紹介していきます。

* 6/5～8は、夏番組組替えのため、プラネタリウムはお休みです。

おうし座のかに星雲：超新星爆発の後には、ガスの残骸が残ります。

編集後記

“オーロラレポート”楽しんでいただけましたか？ これからも、プライベートな旅に“宇宙関連モノ”をプラスして、レポートしていきます！ 次号は“パラボラアンテナ in 沖縄”かな？(Satomi)
“Vol.1”いかがでしたか？ 新コーナーでは、岡山をはじめ、全国の天文台ツアーレポートなんかも検討中！？ お楽しみに！（Yumi）

この博物館通信は、岡山天文博物館が作製しています。次回夏号は、6月発行予定です。

岡山天文博物館 浅口郡鴨方町本庄 3037-5

TEL・FAX 0865(44)2465 休館日：月曜・祝日の翌日

博物館ホームページ <http://www.rweb.ne.jp/astro/index.html>

かわいいオリジナル図書カードが
できました！（デザイン by Gen）